

適合機種 (2012年4月現在)

- カーナビステーション CN-Z500D

品番 **CA-FUK100D**

取り付け・配線の前に、「安全上のご注意」を必ずお読みください。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 本説明書およびナビゲーションの説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- この説明書は大切に保管してください。

販売店様へのお願い

- 取り付け後、この取付説明書は必ずお客様にお渡しください。

お客様へのお願い

- 取り付け、配線には専門の技術と経験が必要です。安全のため、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。

接続端子一覧

取り付けの際に、確認用としてお使いください。
配線についての詳細は「配線のしかた」をご覧ください。(→裏面)

① ナビゲーションユニット(後面)

排熱用ファン
周囲をふさがらないでください。

GPSアンテナ接続端子 (GPS ANT)

地上デジタルアンテナ接続端子
(DIGITAL TUNER ANT IN)

FM-VICSアンテナ接続端子 (VICS)

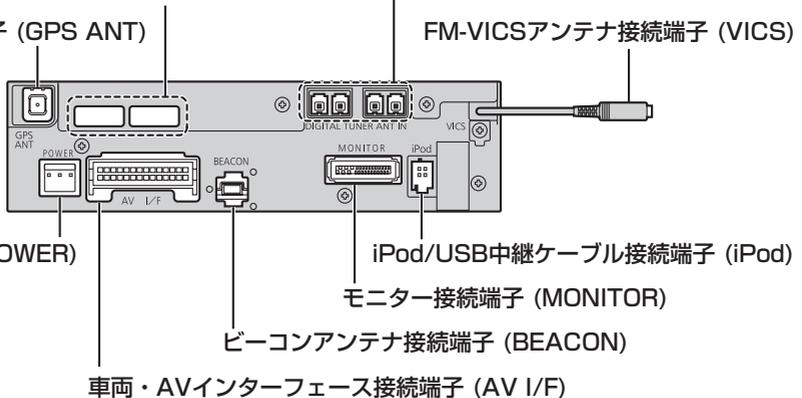
電源コネクタ (POWER)

iPod/USB中継ケーブル接続端子 (iPod)

モニター接続端子 (MONITOR)

ビーコンアンテナ接続端子 (BEACON)

車両・AVインターフェース接続端子 (AV I/F)



安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

 **注意** 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

 してはいけない内容です。

 実行しなければならない内容です。

警告

 **本機はDC12 V \ominus アース車専用です**
DC24 V車には使用できません。火災や故障の原因となります。

説明書に従って、取り付けや配線をする
作業は手順通りに正しく行ってください。火災や故障の原因となります。

作業前に、車体のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認する
車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないようにし、加工部にサビ止め・浸水防止処置をしてください。火災や感電の原因となります。

作業前に、必ずバッテリーの \ominus 端子を外す
外さずに作業をすると、ショートによる感電やけがの原因となります。

使用しないコードの先端などは、テープなどで絶縁する
被覆がない部分が金属部に接触すると、ショートによる火災や感電、故障の原因となります。

サイドブレーキコードを正しく配線する
安全機能が働かず、交通事故の原因となります。

コード類は、運転を妨げないように引き回す
ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダルなどに巻きつくと、交通事故の原因となります。

作業後は、車の電装品*の動作確認をする
正常に動作しないと、火災や感電、交通事故の原因となります。
*ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウinkerなど

フィルムアンテナは、保安基準に従って取付許容範囲に貼り付ける
オンダッシュモニターは、保安基準(前方視界基準)に従って取り付ける
視界不良による事故の原因となります。

ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門技術者に依頼する
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。

 **分解や改造をしない**
特に、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは、絶対におやめください。
交通事故や火災、感電、故障の原因となります。

分解禁止

 **視界や運転を妨げる場所*、同乗者に危険をおよぼす場所には、取り付けない**
交通事故やけがの原因となります。
*ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル付近など

警告

 **エアバッグの動作を妨げる場所には、取り付けや配線をしない**
エアバッグが動作しなかったり、動作したエアバッグでナビゲーションや部品が飛ばされ、死亡事故の原因となります。車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。

取り付けやアース配線に、車の保安部品*を使わない
制御不能や発火、交通事故の原因となります。
*ステアリング、ブレーキ系統、タンクなどのボルトやナット

ねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届かぬところに置かない
誤って、飲み込むおそれがあります。
万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

注意

 **取り付け(取り外し)や配線は、専門技術者に依頼する**
誤った取り付けや配線をした場合、車に支障をきたすことがありますので、お買い上げの販売店にご依頼ください。

必ず、付属品や指定の部品を使用する
機器の損傷や確実に固定できず、事故や故障、火災の原因となります。

GPSアンテナを車外に取り付けた場合には、水*が浸入しないように車内へ引き込む
火災や感電の原因となります。
*雨や洗車の水など

取り付け場所の汚れ(ごみ・ほこり・油)などを取り除き、しっかり取り付ける
走行中に外れ、交通事故やけがの原因となります。
ときどき取り付け状態(接着やねじのゆるみなど)を点検してください。
●オンダッシュモニターを取り付けるモニター台座は、付属のねじでしっかりと固定してください。

 **ナビゲーションユニットは、高温になる場所*に取り付けない**
火災や故障の原因となります。
*直射日光やヒーターの熱風などが直接あたるところ

コードを破損しない
断線やショートによる火災や感電、故障の原因となります

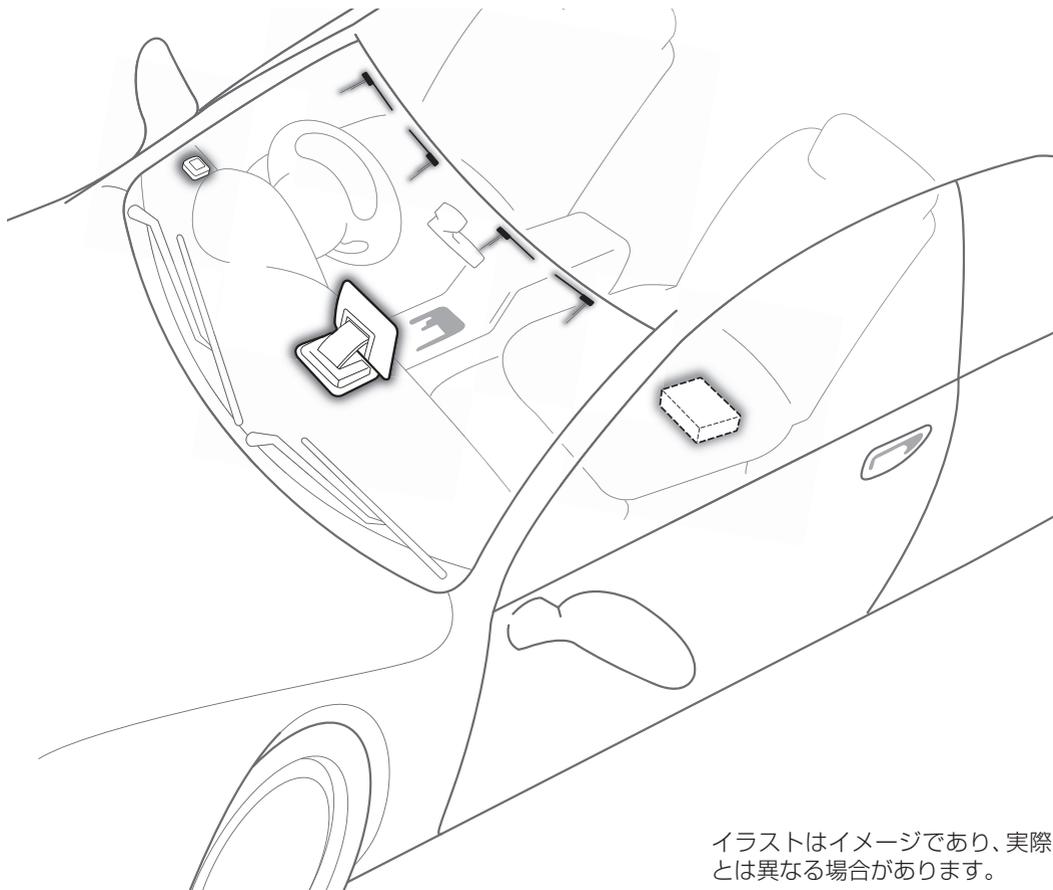
- 傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものを載せる、熱器具へ近づける、車の金属部や高温部に接触させるなどしない
- 車体やねじ、可動部(シートレールなど)へ挟み込まないように引き回す
- ドライバーなどの先で押し込まない

振動や傾きのある不安定な場所には、取り付けない
走行中に外れ、交通事故やけがの原因となります。

水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない
水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因となります。

ナビゲーションユニットの通風孔をふさがない
内部に熱がこもり、火災や故障の原因となります。

取付イメージ



イラストはイメージであり、実際とは異なる場合があります。

パナソニック お客様ご相談センター

電話

フリーダイヤル  **0120-50-8729**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
■ 上記番号がご利用いただけない場合
045-929-0511
※通話料は、お客様のご負担となります。
受付：9:00~18:30 (365日)

FAX

045-938-1573
※通話料は、お客様のご負担となります。
受付：9:00~18:30 (土・日・祝日・当社休日を除く)

- ご使用の回線 (IP 電話やひかり電話など) によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
- 上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

パナソニック株式会社 オートモーティブシステムズ社

〒224-8520 横浜市都筑区池辺町4261 番地

取り付け・配線の前に

- 取り付ける前に内容物をご確認ください。
- 取り付けには、一般工具、カッターナイフ、布きれなどが必要です。
- エアバッグや盗難防止システムなどの保安装置を装備した車両に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。不用意にバッテリーを外すと、保安装置が誤作動したり、動作しなくなる場合があります。
- ボルト、ナット、ねじの取り付けは寸法が合った工具を使用し、まっすぐ確実に行ってください。
- 作業終了後、確実に取り付け・配線がされていること、および車の電装品が正しく動くことを必ずご確認ください。

取り付け・配線の作業時には、安全のため必ず手袋を使用してください。

作業の順序

1 バッテリーの⊖端子を外す

2 取り付け・配線をする

■ 取り付け

GPSアンテナおよび地上デジタルアンテナを取り付ける。

必ず仮止めをして、取り付ける位置を確認してください。

■ 配線

各種コード/ケーブルを配線する。(→裏面)

他の機器と接続する場合は、各機器の説明書も併せてよくお読みのうえ配線してください。

3 ナビゲーションユニットおよびオンダッシュモニターにコード/ケーブルを接続する

お願い

- ショート事故防止のため、電源コネクターの接続は、必ず他の配線を済ませてから、最後に行ってください。

4 ナビゲーションユニット、およびオンダッシュモニターを取り付ける

必ず仮止めをして、取り付ける位置を確認してください。

5 バッテリーの⊖端子をもとに戻す

お願い

- バッテリー端子取り付け用ナットは、工具を使用してしっかりと締め付けて固定してください。

6 取り付け・配線を確認する

確認のしかたは、ナビゲーションの説明書をご覧ください。

例：カーナビステーション CN-Z500D

・GPS情報.....P.20 ・車両信号情報...P.21
 ・拡張ユニット情報....P.21 ・車両情報..... P.22

オンダッシュモニターの取り付け位置について

国土交通省の定める保安基準*に適合させるため、運転者の視界を妨げないように「前方視界基準」(下記)に従って取り付けてください。

* 道路運送車両の保安基準 第21条(運転者席)、細目告示 第27条 および 別添29

前方視界基準

■ 対象車種

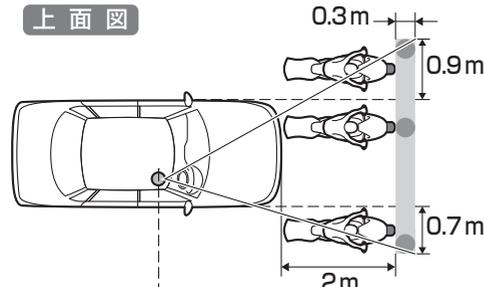
専ら乗用の用に供する自動車(乗車定員11人以上のものを除く)
 車両総重量が3.5トン以下の貨物自動車

■ 基準概要

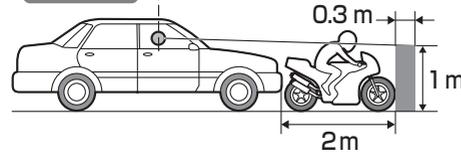
自動車の前方2mにある高さ1m、直径0.3mの円柱(6歳児を模したもの)を鏡等を用いず直接視認できること。

- 図は右ハンドル車の例です。左ハンドル車の場合は、左右逆になります。

上面図



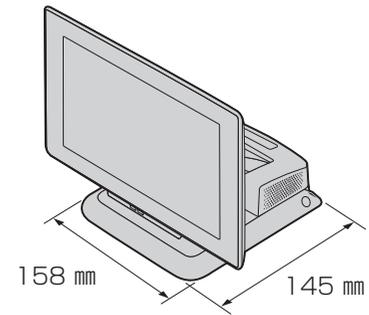
側面図



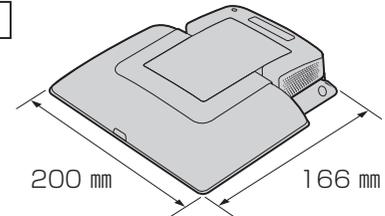
取り付け寸法について

オンダッシュモニターにモニター台座とモニター接続ケーブルを取り付けた状態の寸法です。

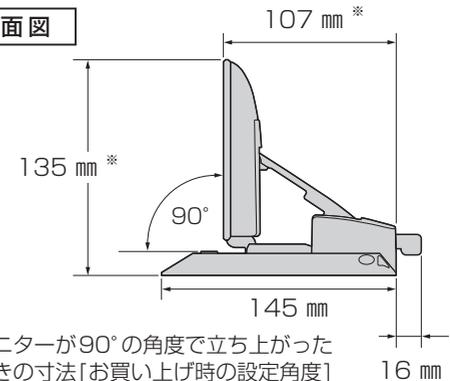
モニター開



モニター閉

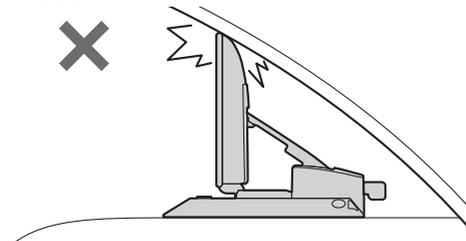


側面図



* モニターが90°の角度で立ち上がったときの寸法[お買い上げ時の設定角度]

- ダッシュボードの形状・材質などにより、取り付けできない場合があります。
- フロントガラスに接触しないように取り付けてください。



- 下記のような場所には絶対に取り付けしないでください。落下する原因となります。

モニター台座の貼り付け面全体が密着しないような段差のある場所や強い曲面	×	
約30°以上傾いた場所(推奨15°以下)	×	
不安定な場所	×	

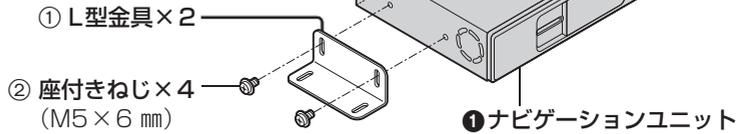
ナビゲーションユニットを取り付ける

助手席のシートの下に、付属の金具を使用して、しっかりと固定してください。

取り付ける前に

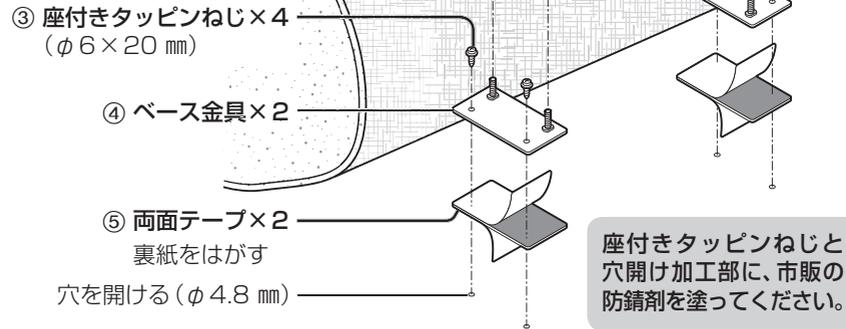
- 設置面の汚れ(ごみ・ほこり・油)などをきれいに拭き取り、湿気を乾かしてください。

1 L型金具をしっかりと取り付ける



2 ベース金具を床の上にしっかりと取り付ける

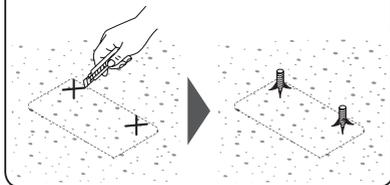
カーペットをめくる。



3 傾きが許容傾斜角度(右記)になるように調整して、しっかりと固定する



カーペットに切り込みを入れる



許容傾斜角度

横方向



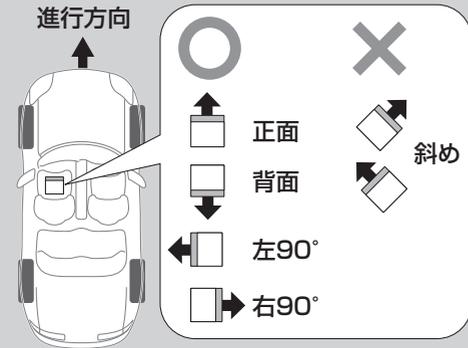
奥行き方向



※取付角度が大きい場合、ジャイロが正しく動作せず、自車位置が正しく表示されません。

取り付け向き

なるべく水平になるように取り付け、進行方向に対し、直角または平行の向きで取り付けてください。



お願い

- 長時間使用すると、ナビゲーションユニットが温かくなりますので、まわりに物などを置かないでください。
- アマチュア無線機などのアンテナの近くに取り付けしないでください。画像が乱れる原因となります。
- 故障の原因となりますので、長さの異なるねじを使用しないでください。
- SDメモリーカードや、miniB-CASカードの出し入れの妨げになる場所には取り付けしないでください。
- 以下のところには取り付けしないでください。故障の原因となります。
 - ・水のかかるところ
 - ・足で踏まれるところ
 - ・ほこりの多いところ
 - ・直射日光のあたる場所
 - ・ヒーターのダクトや発熱する物の近く
 - ・カーペットの下など熱がこもるところ

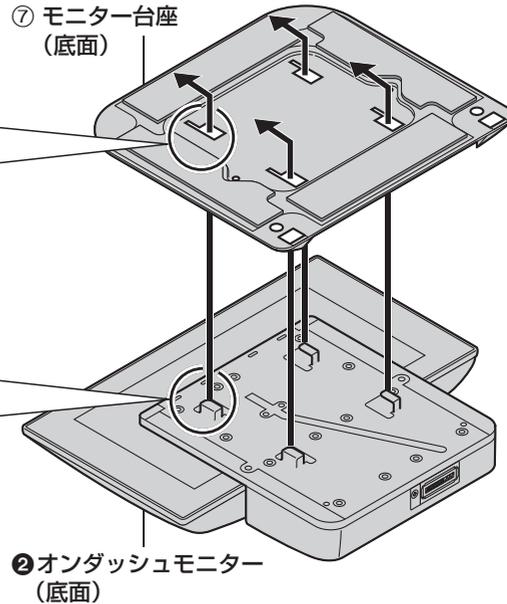
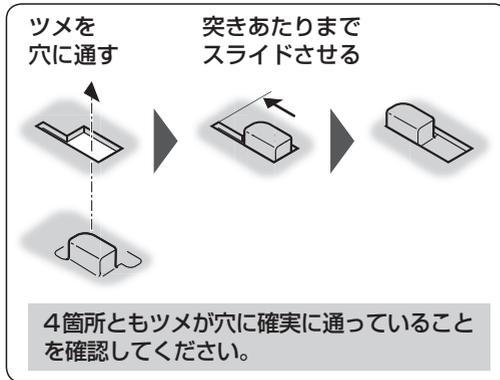
オンダッシュモニターを取り付ける

外れたり落下しないように、付属のねじでしっかりと固定してください。

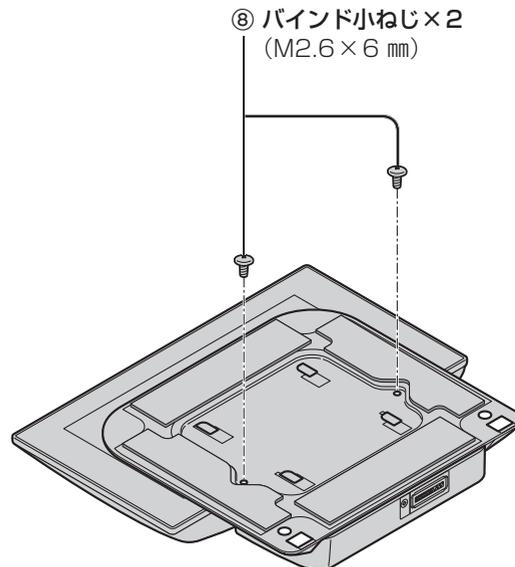
取り付ける前に

- 設置面の汚れ(ごみ・ほこり・油)などをきれいに拭き取り、湿気を乾かしてください。
- 気温が低いとき(20℃以下)は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

1 オンダッシュモニターをモニター台座に取り付ける



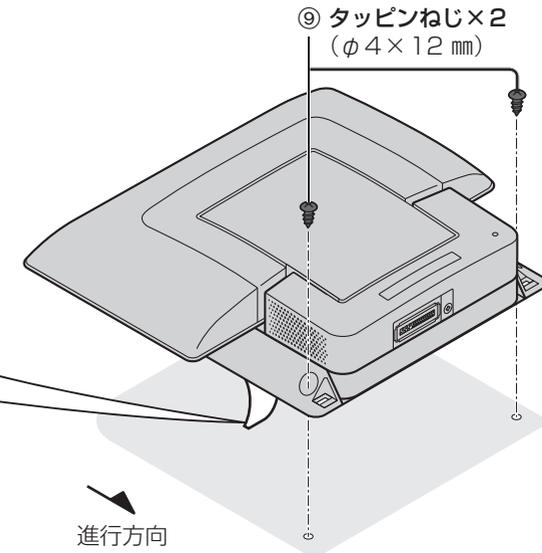
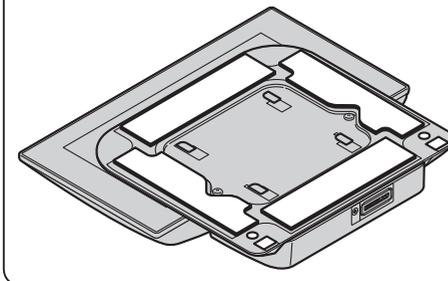
2 オンダッシュモニターとモニター台座をねじで固定する



3 ダッシュボードに貼り付けて、ねじで固定する

安全のため、必ず付属のねじで固定してください。(ダッシュボードに穴が開きます)

貼り付け面の裏紙をはがす(4箇所)

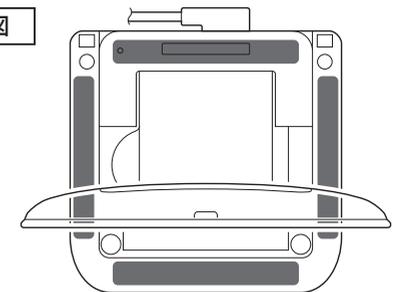


モニターを立ち上げたあと、貼り付け面(右図の■部)をモニター台座の上面からしっかりと押さえて、設置面(ダッシュボード)に密着させてください。

モニターを上から押さえないでください。破損や故障の原因となります。

上面図

進行方向

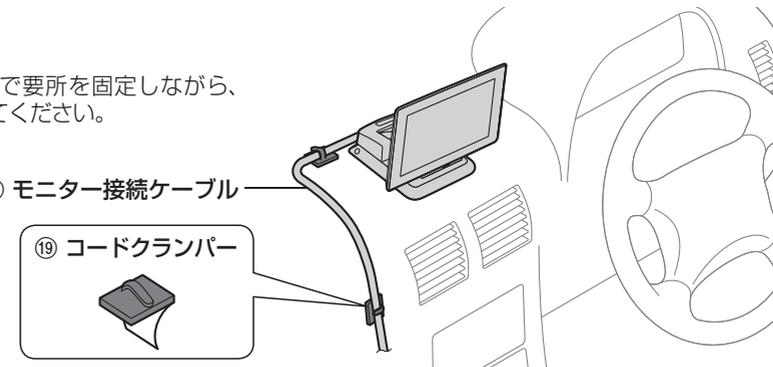


4 コードを引き回す

- コードクランパーで要所を固定しながら、コードを引き回してください。

⑫ モニター接続ケーブル

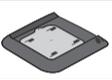
⑬ コードクランパー



内容物の確認

万一、不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

本製品の内容物

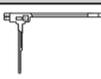
番号	品名	数量
ナビゲーションユニット取り付け用		
①	 L型金具	2
②	 座付きねじ (M5×6 mm)	4
③	 座付きタッピンねじ (φ6×20 mm)	4
④	 ベース金具	2
⑤	 両面テープ (35 mm×80 mm)	2
⑥	 座付き六角ナット (M5)	4
オンダッシュモニター取り付け用		
⑦	 モニター台座	1
⑧	 バインド小ねじ (M2.6×6 mm)	2
⑨	 タッピンねじ (φ4×12 mm)	2
⑩	 クリーナー	1
コード/ケーブル関係		
⑪	 電源コード(4 m)	1
⑫	 モニター接続ケーブル(4 m)	1
⑬	 車両・AVインターフェースコード (4 m)	1
⑭	 車速信号中継コード (桃色: 1.5 m)	1
⑮	 オーディオケーブル(4 m)	1
⑯	 ラジオアンテナ分配コード (3 m)	1
⑰	 アンテナ変換コード(17 cm)	1
⑱	 圧着式コネクタ	4
⑲	 コードクランパー	6

■ 主な添付品

取付説明書(本書)	1
-----------	---

- 包装材料などは、商品を取り出したあと、地域・自治体の定めに従って、適切に廃棄やリサイクル処理してください。

別売 SDカーナビステーション (CN-Z500D) の内容物

番号	品名	数量
ナビゲーションユニット関係		
	 ナビゲーションユニット	1
①	 地図SDHCメモリーカード (お買い上げ時にナビゲーションユニットへ挿入済み)	1
モニター関係		
②	 オンダッシュモニター	1
GPSアンテナ関係		
③	 GPSアンテナ (コード6 m)	1
④	 防水ゴム	1
⑤	 金属シート(車内取付用)	1
⑥	 保護シート(車外取付用)	1
⑦	 コードクランパー	5
コード/ケーブル関係		
⑧	 iPod/USB中継ケーブル (2 m)	1
地上デジタルアンテナ関係		
⑨	 地上デジタルアンテナA	2
⑩	 地上デジタルアンテナB	2
⑪	 地上デジタルアンテナコードA (4 m)	2
⑫	 地上デジタルアンテナコードB (4 m)	2
⑬	 コードクランパー	8
⑭	 クリーナー	1
リモコン関係		
	 リモコン	1
⑮	 電池(CR2032) (お買い上げ時にリモコンへセット済み)	1
⑯	 リモコンホルダー	1
⑰	 両面テープ(角型)	1

■ その他の付属品

miniB-CASカード	1
--------------	---

■ 主な添付品

取扱説明書	1
保証書	1

仕様

モニター台座	
外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	158 mm×15 mm×145 mm
質量	150 g

・他の部品についての主な寸法は、上記の内容物一覧をご覧ください。

・コード/ケーブルの詳細寸法は、配線(裏面)をご確認ください。

- 本製品の仕様、外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本書に記載の寸法・質量はおおよその数値です。
- イラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。

地上デジタルアンテナの取り付けかた

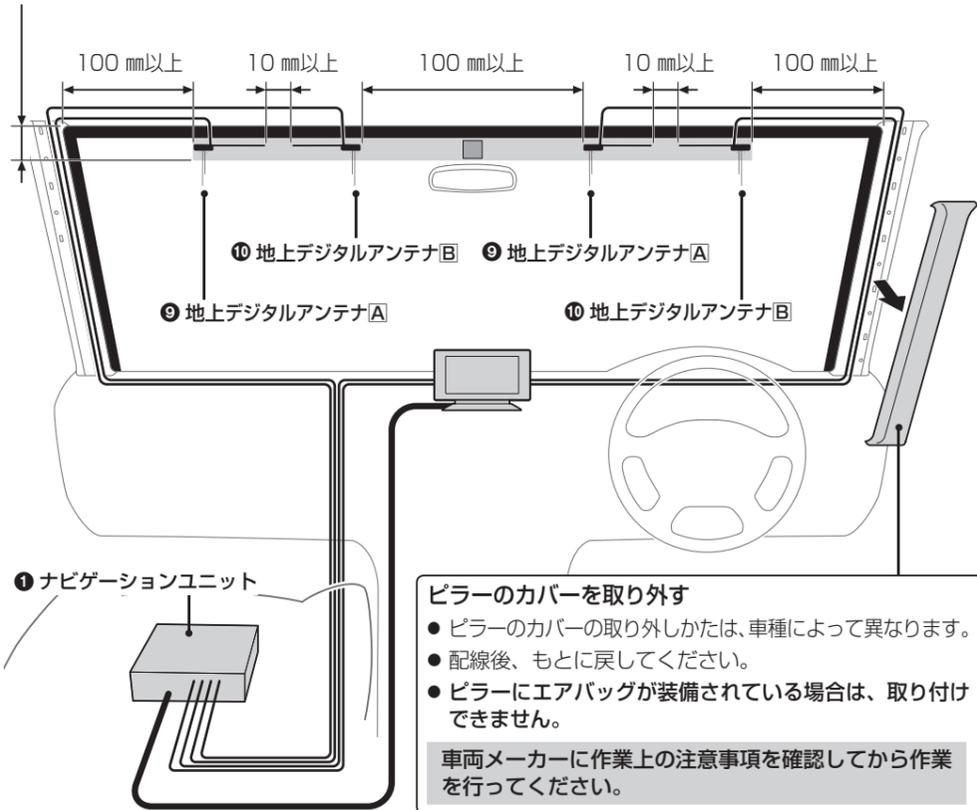
アンテナの貼り付け位置について

- **必ず車室内(フロントガラスの上側)に貼り付けてください。**
サイドガラスやリヤガラスには貼らないでください。十分な受信状態が得られません。
- **性能を十分発揮するために、必ず指定の位置に、正しい向きで貼り付けてください。**
指定の位置や寸法内に貼り付けられない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- **国土交通省の定める保安基準*に適合させるため、アンテナの給電部およびコードの端子は、必ず取付許容範囲内(下図の ■ 部)に貼り付けてください。**

*道路運送車両の保安基準第29条(窓ガラス)、細目告示第39条および別添37

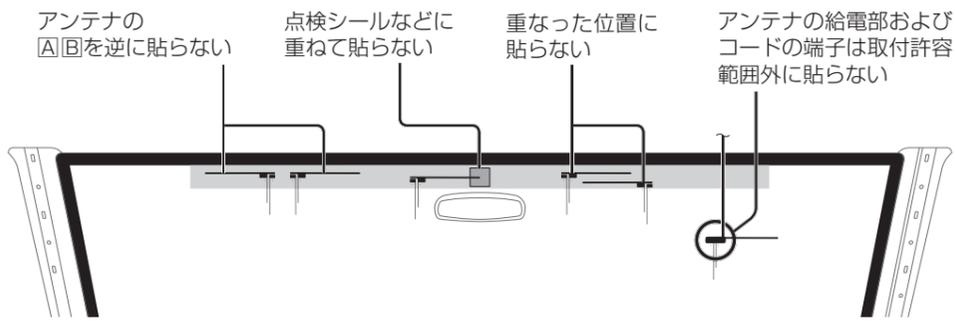
取付許容範囲: ■ 部

アンテナの給電部をフロントガラスの上端から25 mm以内に貼り付けてください。
セラミックライン(黒い縁)の上にも貼り付けられます。



下記のような貼り付けは、絶対にしないでください。

- 国土交通省の定める保安基準に適合しない場合があります。
- アンテナの性能を十分に発揮できません。



取り付ける前に

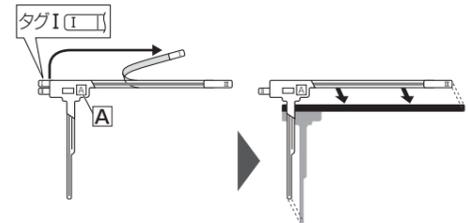
- アンテナを折り曲げないよう、お取り扱いにご注意ください。
- 貼り付ける前に、付属のクリーナーで設置面(ガラス面、ピラー)の汚れ(ごみ・ほこり・油)などをきれいに拭き取り、運転者の視界を妨げない位置に、はがれないようしっかり貼り付けてください。
・ガラス面が完全に乾いた状態で作業を行ってください。接着不良などによるはがれの原因となります。
・気温が低いとき(20℃以下)は、車内ヒーターやデフロスタでフロントガラスを温めてください。
・界面活性剤入りのクリーナーは使用しないでください。
- 仮止めして、貼り付ける位置と左右の向きをご確認ください。貼りなおせません。
- 糊面や給電部に手を触れないでください。接触不良によるはがれの原因となります。
- 妨害を防ぐため、GPSアンテナや別売のVICSビーコンユニット、およびそれらのコードから15 cm以上離して貼り付けてください。
- 車種によって、性能が発揮できない場合があります。
熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど電波を通さないガラスを使用した車種の場合、受信感度が極端に低下します。お買い上げの販売店にご相談ください。

Aを例に説明しています。Bも左右対称にして同様に貼り付けてください。
必ず指定の位置に、正しい向きで貼り付けてください。

フロントガラスにアンテナを貼り付ける

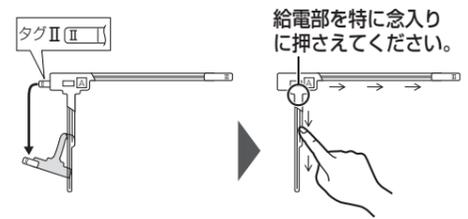
1 タグIを持ってセパレーターをはがし、貼り付ける

- 強く曲げる、急にはがす、引っ張るなどしないでください。断線の原因になります。
- 貼付位置を確認してから貼り付けてください。



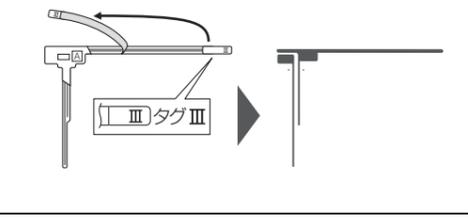
2 タグIIを持ってセパレーターをはがし、アースパターン/給電部/エレメントをしっかりとガラス面に密着させる

- 貼り付けたあと、矢印の方向に、指などで均等に押し付け、ガラス面に密着させてください。
- 車外から見て、ガラスに密着していることを確認してください。



3 タグIIIを持って、フィルムをゆっくりとはがす

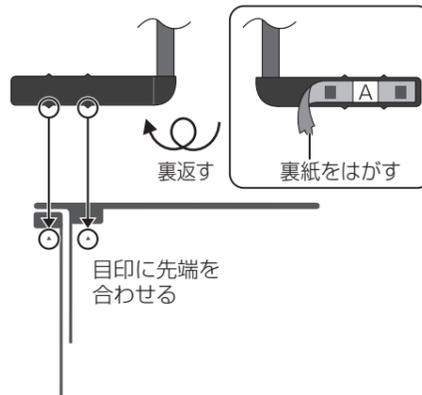
- アースパターン/給電部/エレメントが貼り付いていることを確認してください。
- フィilm側に残る場合は、フィルムをもとに戻して全体を上からこすり、再度はがしてください。



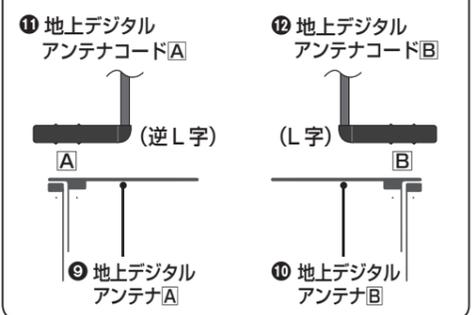
4 他の3枚も同様に貼り付ける

アンテナコードを取り付ける

1 端子をエレメントの給電部に貼り付ける



同じマークのアンテナとコードを組み合わせてください。



2 コードを引き回す



アンテナコードをドライバーなどの先のとがったもので、ピラーやルーフィングの端から無理に押し込んだりしないでください。
コードが傷つき故障の原因となります。

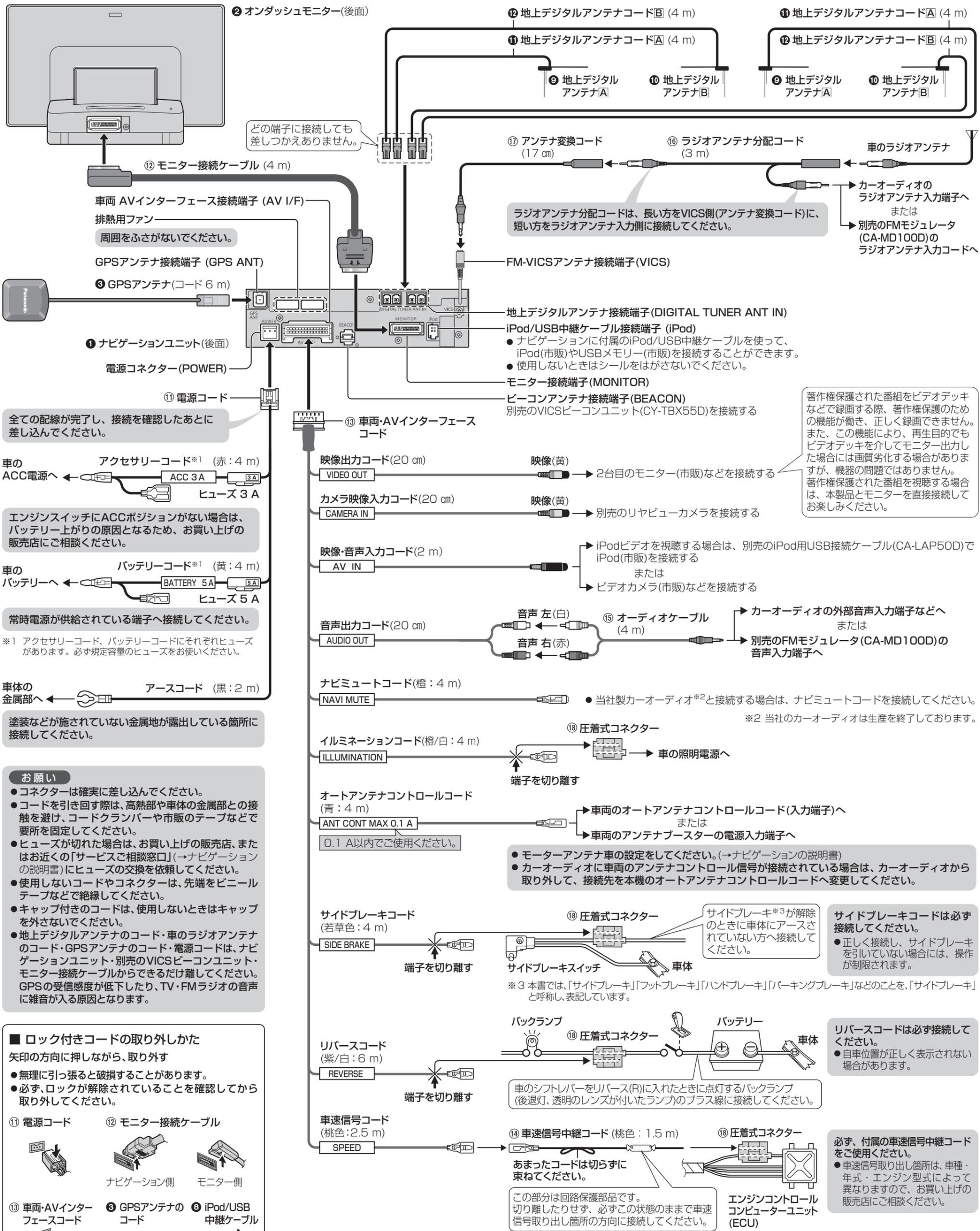
- 他のコード類からできるだけ離してください。
また、束ねたり重ねたり交差させたりしないでください。
TVの音声に雑音が入る原因となります。



3 他の3本も同様に貼り付ける

4 アンテナコードをナビゲーションユニットに接続する (→右記「配線のしかた」)

配線のしかた



② オンダッシュモニター(後面)
 ⑫ モニター接続ケーブル (4 m)
 車両 AVインターフェース接続端子 (AV I/F)
 排熱用ファン
 周囲をふさがらないでください。
 GPSアンテナ接続端子 (GPS ANT)
 ③ GPSアンテナ(コード 6 m)
 ① ナビゲーションユニット(後面)
 電源コネクター (POWER)
 ⑪ 電源コード

全ての配線が完了し、接続を確認したあとに差し込んでください。
 車の ACC電源へ
 アクセサリーコード*1 (赤: 4 m)
 ACC 3 A
 ヒューズ 3 A
 エンジンスイッチにACCポジションがない場合は、バッテリー上がりの原因となるため、お買い上げの販売店にご相談ください。

車の バッテリーへ
 バッテリーコード*1 (黄: 4 m)
 BATTERY 5 A
 ヒューズ 5 A
 常時電源が供給されている端子へ接続してください。

*1 アクセサリーコード、バッテリーコードにそれぞれヒューズがあります。必ず規定容量のヒューズをお使いください。
 車体の金属部へ
 アースコード (黒: 2 m)
 塗装などが施されていない金属地が露出している箇所へ接続してください。

お願い
 ●コネクターは確実に差し込んでください。
 ●コードを引き回す際は、高熱部や車体の金属部との接触を避け、コードクランパーや市販のテープなどで要所を固定してください。
 ●ヒューズが切れた場合は、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」(→ナビゲーションの説明書)にヒューズの交換を依頼してください。
 ●使用しないコードやコネクターは、先端をビニールテープなどで絶縁してください。
 ●キャップ付きのコードは、使用しないときはキャップを外さないでください。
 ●地上デジタルアンテナのコード・車のラジオアンテナのコード・GPSアンテナのコード・電源コードは、ナビゲーションユニット・別売のVICSビーコンユニット・モニター接続ケーブルからできるだけ離してください。GPSの受信感度が低下したり、TV・FMラジオの音声に雑音が入る原因となります。

■ ロック付きコードの取り外しかた
 矢印の方向に押しながら、取り外す
 ●無理に引っ張ると破損することがあります。
 ●必ず、ロックが解除されていることを確認してから取り外してください。



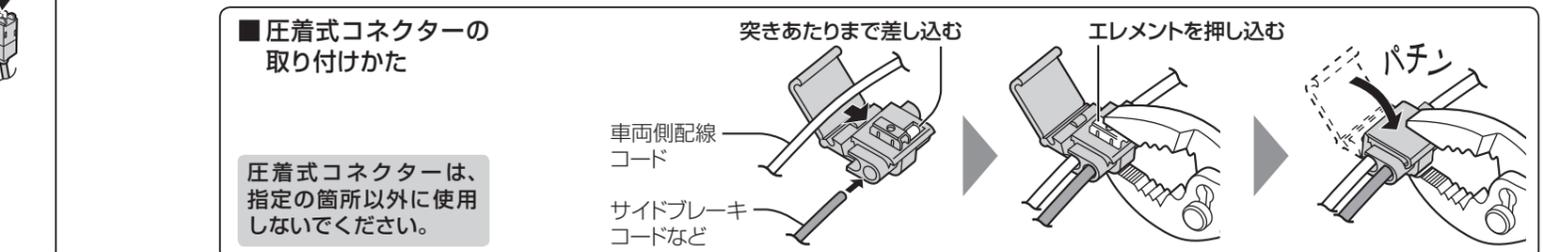
⑬ 車両AVインターフェースコード
 映像出力コード(20 cm) VIDEO OUT → 映像(黄) → 2台目のモニター(市販)などを接続する
 カメラ映像入力コード(20 cm) CAMERA IN → 映像(黄) → 別売のリビューカメラを接続する
 映像・音声入力コード(2 m) AV IN → iPodビデオを視聴する場合は、別売のiPod用USB接続ケーブル(CA-LAP50D)でiPod(市販)を接続する
 またはビデオカメラ(市販)などを接続する
 音声出力コード(20 cm) AUDIO OUT → 音声左(白) 音声右(赤) → ⑮ オーディオケーブル (4 m) → カーオーディオの外部音声入力端子などへ
 または別売のFMモジュレータ(CA-MD100D)の音声入力端子へ
 ナビミュートコード(橙: 4 m) NAVI MUTE → ●当社製カーオーディオ*2と接続する場合は、ナビミュートコードを接続してください。
 *2 当社のカーオーディオは生産を終了しております。

⑭ 圧着式コネクター
 イルミネーションコード(橙/白: 4 m) ILLUMINATION → ●端子を切り離す → 車の照明電源へ
 オートアンテナコントロールコード(青: 4 m) ANT CONT MAX 0.1 A → ●0.1 A以内で使用してください。
 ●車両のオートアンテナコントロールコード(入力端子)へ
 または●車両のアンテナブースターの電源入力端子へ

⑮ 圧着式コネクター
 サイドブレーキコード(若草色: 4 m) SIDE BRAKE → ●端子を切り離す → サイドブレーキスイッチ → 車体
 ●サイドブレーキ*3が解除のときに車体にアースされていない方へ接続してください。
 *3 本書では、「サイドブレーキ」「フットブレーキ」「ハンドブレーキ」「パーキングブレーキ」などのことを、「サイドブレーキ」と呼称し、表記しています。

⑯ 圧着式コネクター
 リバースコード(紫/白: 6 m) REVERSE → ●端子を切り離す → バックランプ → バッテリー → 車体
 ●車のシフトレバーをリバース(R)に入れたときに点灯するバックランプ(後退灯、透明のレンズが付いたランプ)のプラス線に接続してください。

⑰ 車速信号中継コード(桃色: 1.5 m) SPEED → ●あまったコードは切らずに束ねてください。
 ●この部分は回路保護部品です。切り離したりせず、必ずこの状態のまま車速信号取り出し箇所の方向に接続してください。
 ●必ず、付属の車速信号中継コードをご使用ください。
 ●車速信号取り出し箇所は、車種・年式・エンジン型式によって異なりますので、お買い上げの販売店にご相談ください。



著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、この機能により、再生目的でもビデオデッキを介してモニター出力した場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴する場合は、本製品とモニターを直接接続してお楽しみください。

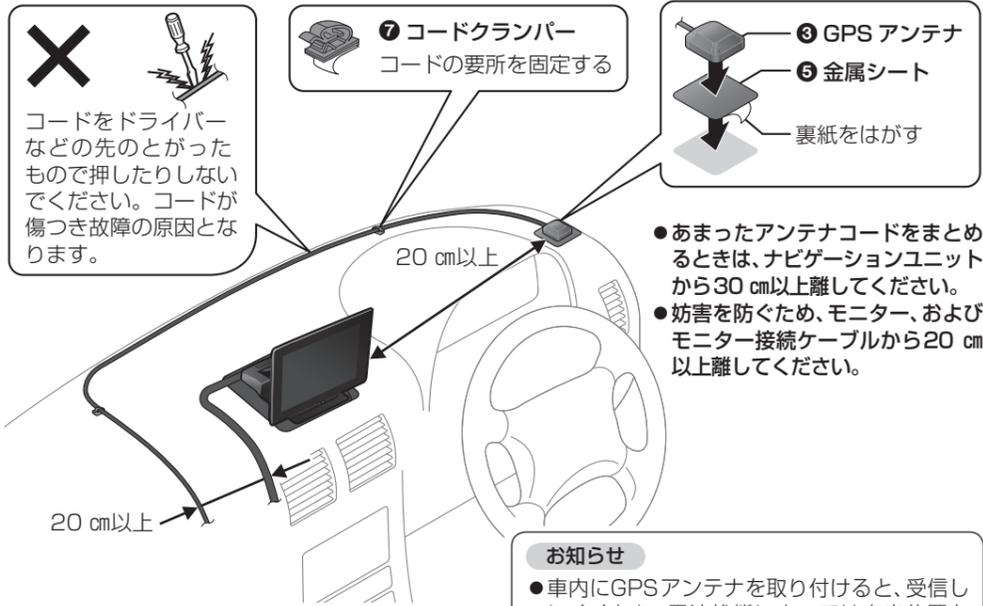
GPSアンテナの取り付けかた

取り付ける前に

- 設置面の汚れ(ごみ・ほこり・油)などをきれいに拭き取り、湿気を乾かしてください。
- 気温が低いとき(20℃以下)は、設置面をドライヤーなどで温めてください。
- 妨害を防ぐため、他のアンテナや別売のVIC5ビーコンユニット、およびそれらのコードから、15 cm以上離して取り付けてください。

ダッシュボードやリアトレイの上に取り付ける場合(推奨)

ガラス付近に水平に取り付ける



お願い

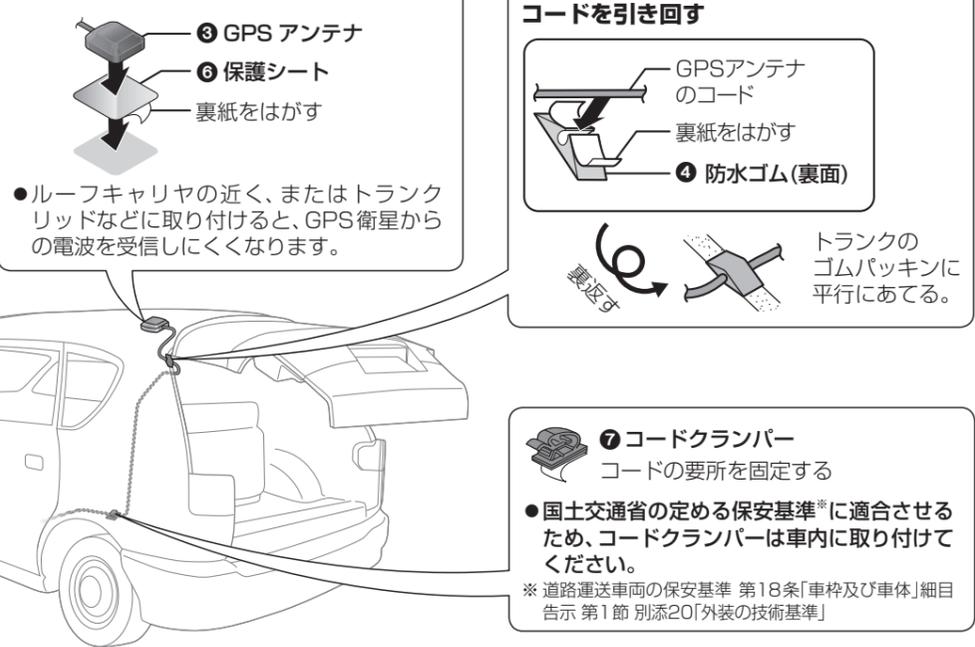
- 金属シートは、必ず、付属の金属シートを使用してください。折り曲げたり、切って小さくしないでください。
- GPSアンテナに時計や磁気カードを近づけないでください。故障する(使えなくなる)場合があります。

お知らせ

- 車内にGPSアンテナを取り付けると、受信しにくくなり、電波状態によっては自車位置を誤って表示することがあります。受信状態が良くない場合は、車外に取り付けてください。
- 車体の形状や電波を通さない一部のガラスにより、電波がさえぎられることがあります。お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」(→ナビゲーションの説明書)にご相談ください。

車外に取り付ける場合

ルーフの平らな面に取り付ける



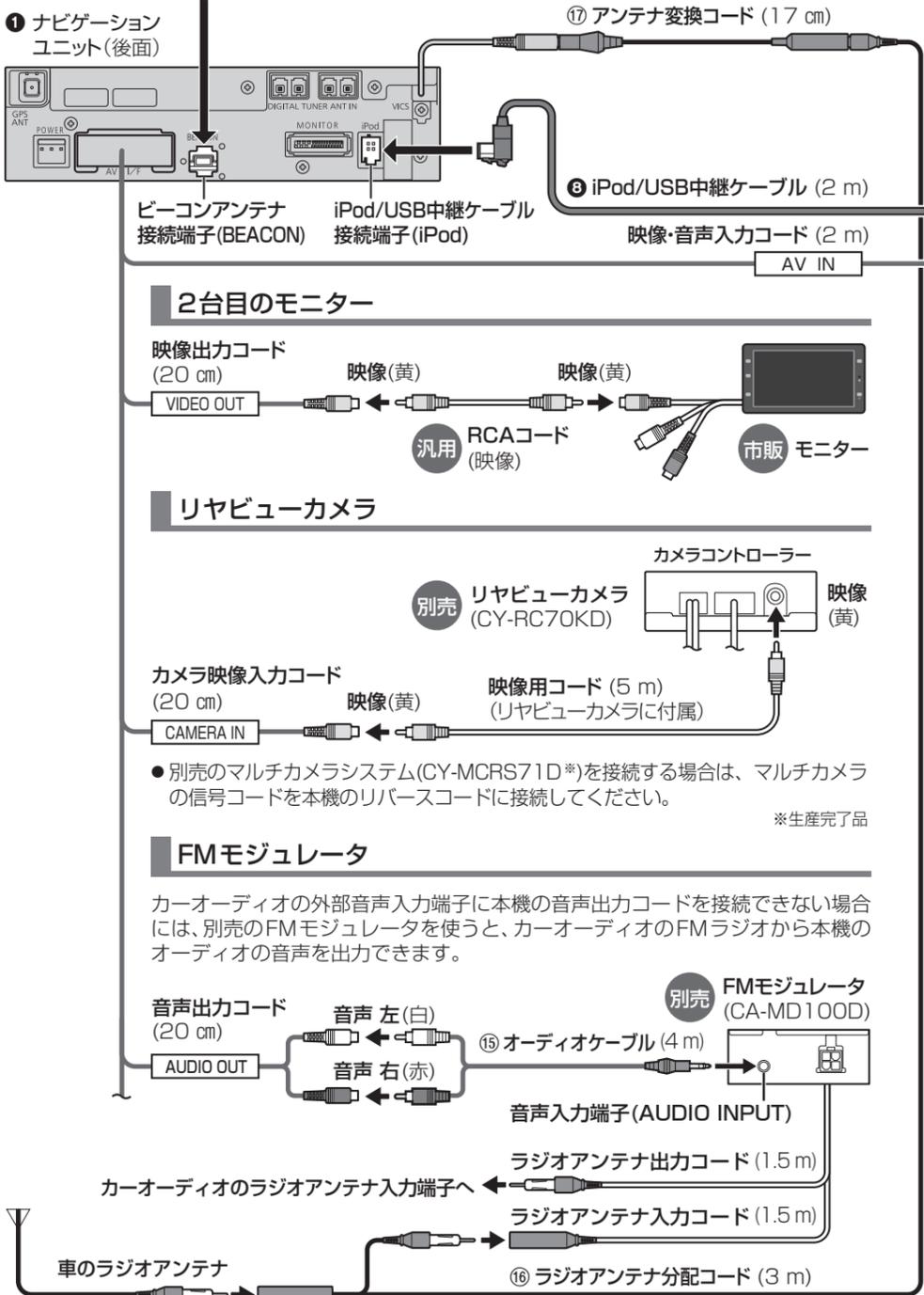
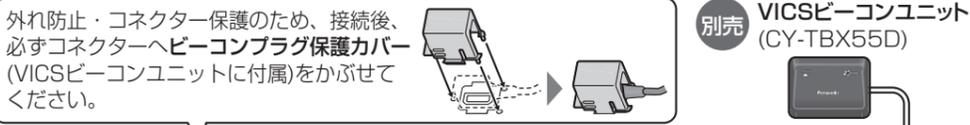
お願い

- GPSアンテナに塗料やワックスを塗らないでください。また、雪などが積もった場合は取り除いてください。GPS衛星からの電波を受信しにくくなります。
- 洗車などのときは、必ずGPSアンテナを取り外してください。取り外すときは、コードを引っ張らないでください。故障や傷つきの原因となります。

他の機器と組み合わせて使う 接続する機器の説明書も、よくお読みください。

推奨品以外はご使用になれない場合がありますので、お買い上げの販売店にご相談ください。

VICSビーコンユニット



iPod/USBメモリー使用時のお願い

- 必ずナビゲーションに付属されているiPod/USB中継ケーブルを使用してください。適合機種以外のナビゲーションに付属されているケーブルを使用すると、正しく動作しない場合があります。
- iPodは、電源を入れたうえでナビゲーションと接続してください。
- コネクタは確実に差し込んでください。
- iPodの取り付け・取り外しをするときにケーブルを引っ張らないでください。
- iPodおよびケーブルは、運転や乗り降りの妨げにならないように固定してください。
- iPodを車内の温度が高くなる場所に放置しないでください。
- ケーブルやコネクタが足で踏まれたり、運転の妨げにならないように、市販のクランパーやテープなどで要所を固定してください。
- 高熱部や車体の金属部、ヒーターの熱風や直射日光を避けて配線してください。
- 使用しないときは必ずコネクタにカバーやキャップをかぶせて保護してください。

iPod (iPodビデオを視聴する場合)



別売のiPod用USB接続ケーブル(CA-LAP50D)を使用しない場合は、下記のようにしてiPod、USBメモリー、ビデオカメラなどを接続できます。

iPod/USBメモリー



- iPodとUSBメモリーは、同時には接続できません。
- iPodに付属のUSBケーブルでナビゲーションとiPodを接続した場合、iPodビデオをナビゲーションで視聴できません。ナビゲーションでiPodビデオを視聴するには、別売のiPod用USB接続ケーブル(CA-LAP50D)でiPodを接続してください。他のケーブルを使用すると、正しく動作しない場合があります。

ビデオカメラ

